



自由民主党神奈川県第17選挙区支部長

牧島かれん

# かれん新聞

<http://www.makishimakaren.com/>

自由民主党神奈川県第17選挙区支部 〒250-0862 小田原市成田 178-1 TEL:0465-38-3388 FAX:0465-38-4400

本当にこのままでいいのでしょうか？  
**新型インフルエンザ対策への疑問**

新型インフルエンザへの脅威に晒される日本。風も冷たさを増し、年末に向けての忙しさに比例するかのよう弱まる体力。

既に死亡者を出している新型インフルエンザへの対策は急がねばなりません。

2009年10月20日には、新型インフルエンザワクチンの標準的なスケジュールが発表されました。10月末からは医療従事者へ、11月からは妊婦、基礎疾患を有する者を優先にワクチン接種のタイムスケジュールが組み込まれました。しかし、あいまいな点がいくつも存在しています。

**費用は一体、誰が負担するのか？**

まず、ワクチンを接種するのには、2回の接種が有効と考えられています。1回目・3600円。2回目・2550円。合計で6150円が必要となります。

今のところ、新型インフルエンザは感染力は強いものの、多くの人は軽症で回復しています。しかしながら、妊婦や糖尿病、ぜん息を患っている人は重症化しやすいこともわかっており、実際に亡くなった方もおられます。

さて、6150円を払ってワクチンを接種するか？しないか？

接種の有無は、個人の判断に任されていますが、もしワクチン接種をしたいと思っても、6150円という金額が原因で接種できないとしたら...

政府は、そのような事態を避けるため、ある条件をつけて費用を軽減する方針を発表しました。

- ① 生活保護世帯
- ② 市町村民税非課税世帯

この2つの条件に当てはまる人に対しては、「軽減措置」を行うと発表しました。しかし、「具体的内容については、今後、市町村において、決められる予定。」と、まるで負担軽減策を地方自治体に丸投げしたかのような文言が明記されていません。

(平成21年10月1日発表の厚生労働省資料より)

これでは政府が責任を持って対策を講じているとは思えません。

平成21年9月17日には、合計6150円のうち、国が2分の1、都道府県が4分の1、市町村が4分の1を負担する、という考え方が示されていました。その費用負担の部分が最終的に決定されないうまま、すでにワクチン接種が始まっています。

ワクチン接種に限りませんが、国が一部を負担し、残りの費用を自治体に負担するよう求めるとき、毎回生じる弊害が「地域間格差」です。

例えば東京都港区では65歳以上の区民全員にワクチン接種が無料化されていますが、財政難の地方では、費用を捻出できません。上記の①と②の条件に該当する人口は、国民の3分の1だと言われています。ある地域に住む人は、無料で新型インフルエンザの感染から守られるのに対し、ある地域に住む人は6150円負担、という非常

に不公平な現象が起きてしま  
うのです。

国は国民の健康を守ると言い  
つつ、対応は各自治体に任せる  
という、実に責任の所在もあい  
まい、費用負担の最終結論もあ  
いまいなまま、このワクチン接  
種がスタートしています。

国民の生命を第一に考えるの  
であれば、国は中途半端に地方  
自治体に責任と費用を負わせ  
るのではなく、希望者は無料で  
ワクチン接種できるように、財政  
を確保すべきではないでしょ  
うか。それが政治主導という意  
味だと私は考えます。

**国民の意思で選択できるよ  
う、「情報公開」を徹底的に。**

国民の大多数に免疫がない、こ  
の新型インフルエンザ。  
未だに説明されていない部分  
があるにしても、情報公開がし  
っかりなされていけないことに  
も疑問を感じています。

厚生労働省は10月23日の記者  
会見で、国立病院機構67病院  
の医療従事者2万2112人の接種  
後の詳細な健康状態を調査し  
たところ、重篤な副反応が4  
例(両下肢筋肉痛、動悸、嘔吐・

発熱・意識低下各1例)、受託  
医療機関からは、接種者数は不  
明だが、重篤な副反応が2例  
(アナフィラキシーショックと  
吐き気各1例)確認されたこ  
とを発表しました。

しかし、一般的に新型インフル  
エンザのワクチンを接種する  
ことに対する副反応がどれだ  
け起き得るか、その可能性や症  
状について、私たちにきちんと  
知らされているでしょうか。

特に、輸入ワクチンは500万人  
分確保され、厚生省発表では  
12月中旬から接種を開始する  
ことになっていますが、輸入ワ  
クチンの安全性は、きちんと確  
かめられているのでしょうか。  
日本人の体質に適合するのか、  
不安は残っています。

輸入ワクチン使用の試験期間  
の時期を設けずに、接種開始を  
急ぐべきなのか、現段階では  
「数」の確保が最優先され、安  
全性に対する不透明性を拭い  
きれません。

ワクチンの確保や、ワクチン接  
種のスケジュールが大々的に  
発表され、まるで新型インフル  
エンザの驚異から守られたか  
のように見えますが、それなり

のリスクもあるのです。  
ワクチンの副反応は、私たちの  
命にかかわることです。実は接  
種の方法や費用などよりも迅  
速に知らされて然るべきだと  
考えます。

今後、医療従事者だけでなく子  
どもや高齢者の接種がはじま  
るからこそ、その前にすべてわ  
かっている副反応に関する情  
報は公開し、私たちがそのリス  
クをきちんと知った上で、ワク  
チンを接種するか否かの選択  
をできるように、情報公開され  
ることを願います。

国民の命を守るのは国の当然  
の責務です。

国民ひとりひとりが気をつけ  
ること、地域で支えあうべきこ  
と、地方自治体がサポートすべ  
きこと。そして国が公助すべ  
きこと。

新型インフルエンザ対策は、ま  
さに国が国民の命を守るため  
に公助すべきことだと考えま  
す。

**牧島かれんを育てる会に入会しませんか？**

下記にご連絡をいただければ、申込書をお送りいたします。

**牧島かれんを育てる会**

住 所：小田原市成田 178-1  
電 話 番 号：0465-38-3388  
F A X：0465-38-4400

○ホームページにて活動レポートを更新しています。  
携帯からもアクセスできます。

**\*\*最近更新された活動レポート\*\***

- ☆ 「相模人形芝居下中座」(1)～(3)
- ☆ 「ありがとう、ウメ子さん」
- ☆ 「朝のごあいさつと参議院補欠選挙のご案内」
- ☆ 「稲刈り」 他…

【PC】：<http://www.makishimakaren.com/>  
【携帯】：右のQRコードをご利用ください。

